

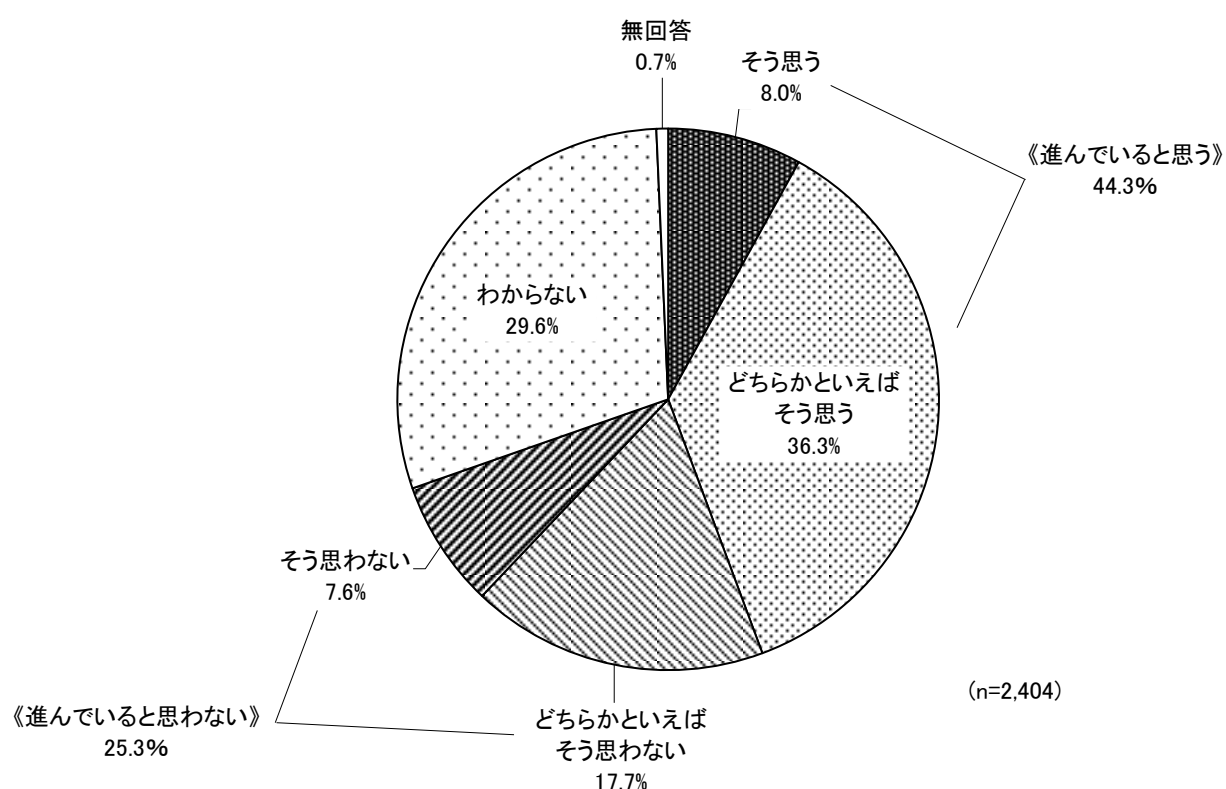
10. 多文化共生

(1) 区の多文化共生社会への進捗状況

◎ 《進んでいると思う》が4割半ば、《進んでいると思わない》が2割半ば

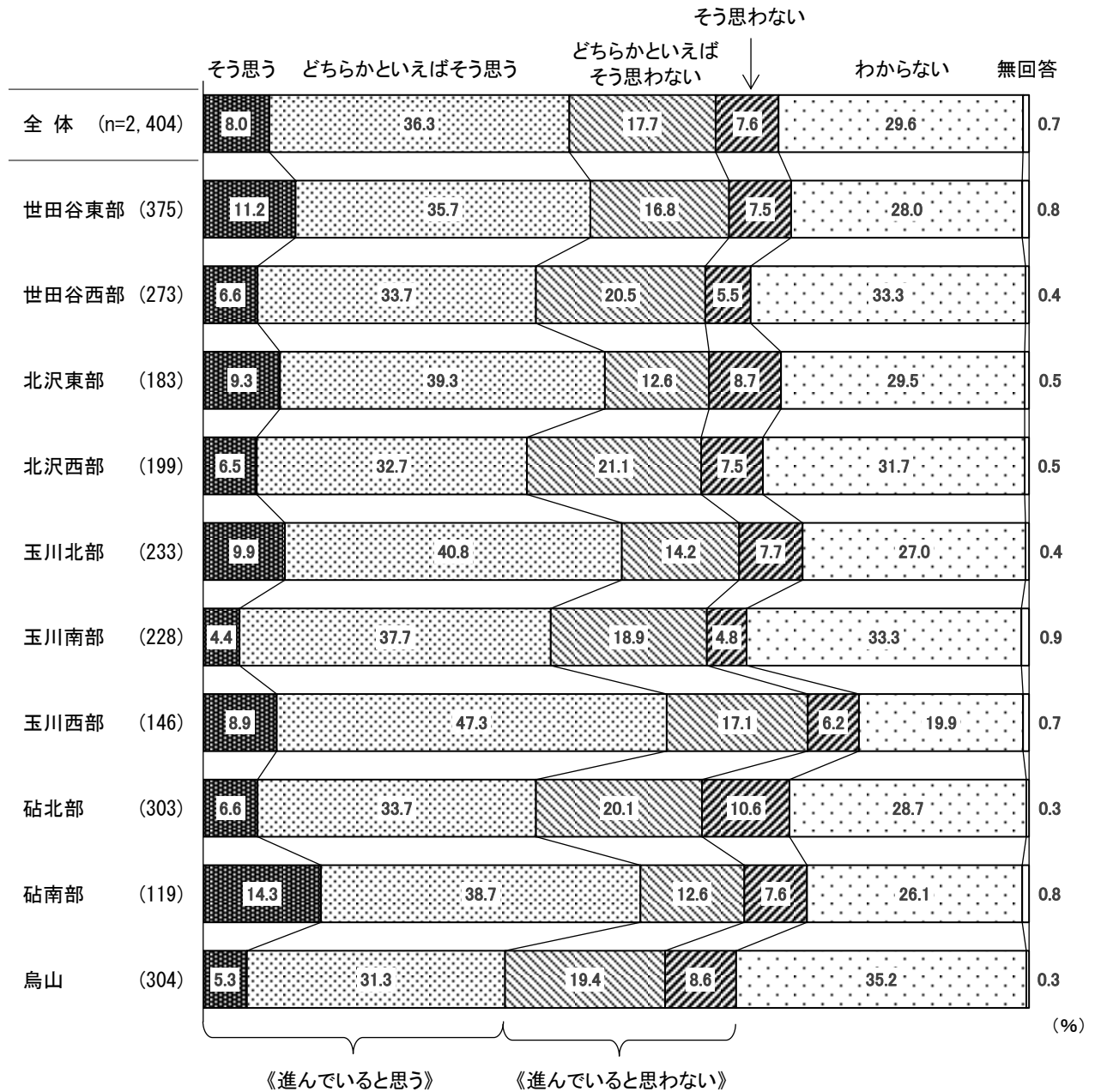
問28 あなたは、「外国人住民と日本人住民が共に暮らす」という視点からみて、世田谷区は多文化共生が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

図10-1-1



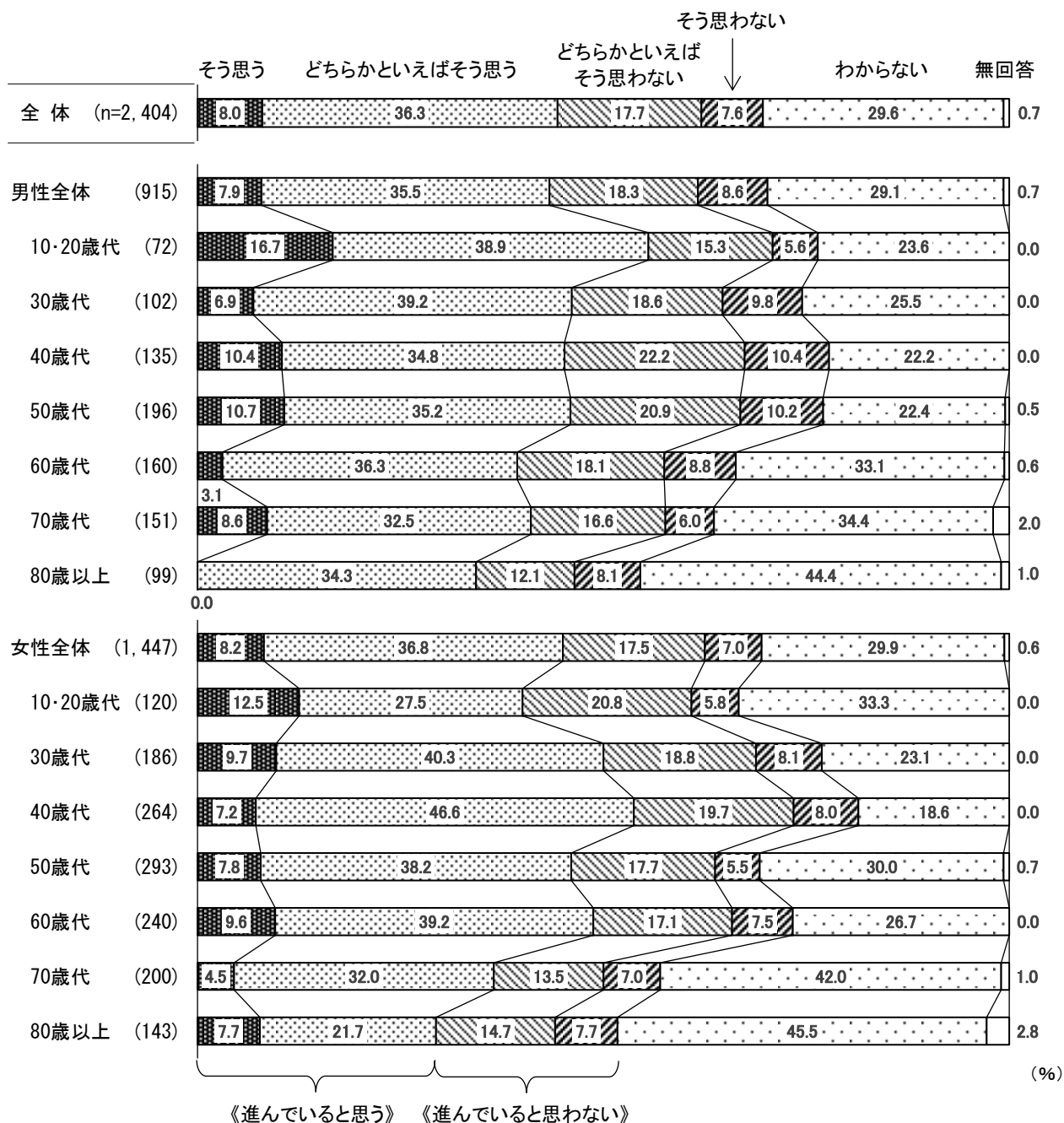
区の多文化共生が進んでいると思うか聞いたところ、「どちらかといえば思う」（36.3%）と「そう思う」（8.0%）を合わせた《進んでいると思う》（44.3%）が4割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（17.7%）と「そう思わない」（7.6%）を合わせた《進んでいると思わない》（25.3%）は2割半ばとなっている。（図10-1-1）

図 10-1-2 区の多文化共生社会への進捗状況（地域別）



地域別にみると、《進んでいると思う》は玉川西部で5割半ば、砧南部で5割を超え、玉川北部でほぼ5割となっている。《進んでいると思わない》は砧北部でほぼ3割、烏山、北沢西部で3割近くとなっている。（図10-1-2）

図 10-1-3 区の多文化共生社会への進捗状況（性・年齢別）



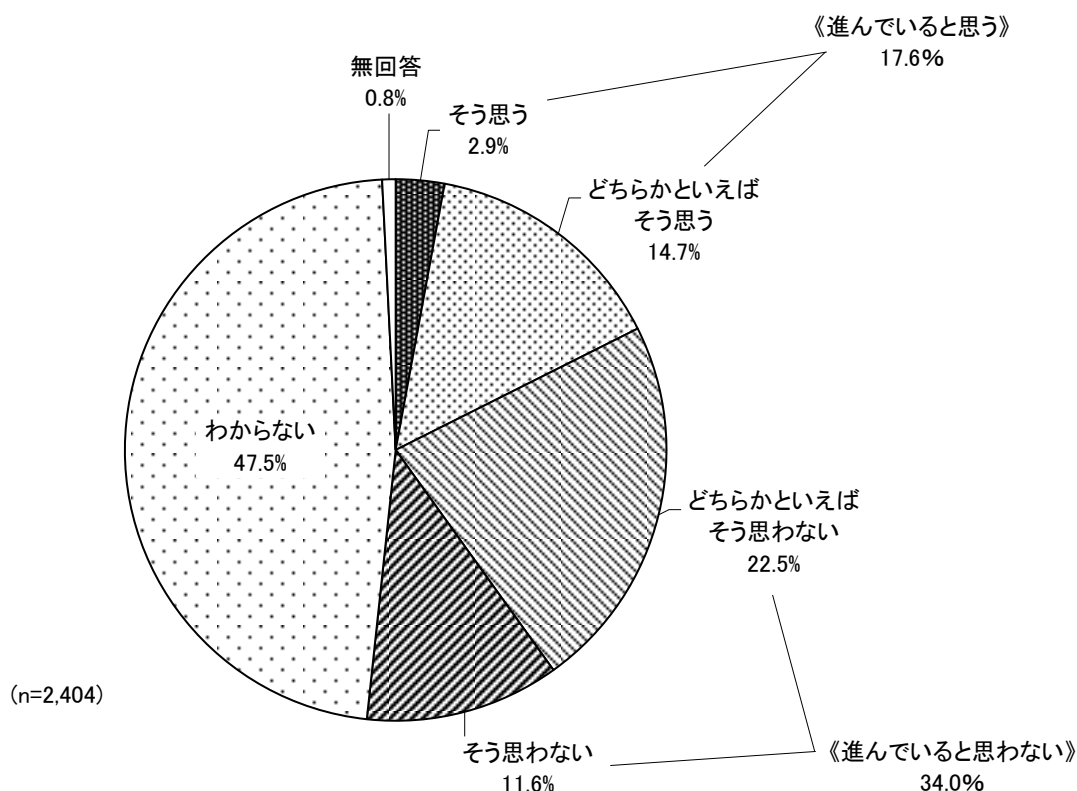
性・年齢別にみると、《進んでいると思う》は男性の10・20歳代で5割半ば、女性の40歳代で5割を超え、女性の30歳代で5割となっている。《進んでいると思わない》は男性の40歳代と50歳代で3割を超えている。（図10-1-3）

（２）外国人の地域活動への参加の進捗状況

◎ 《進んでいると思う》が２割近く、《進んでいると思わない》が３割半ば

問２９ 区では、外国人等が地域住民の一人として地域社会に参加・活躍できるように、地域のおまつりや防災訓練、ボランティア活動などへの参加を促進しています。
あなたは、外国人等の地域活動への参加が進んでいると思いますか。（○は１つ）

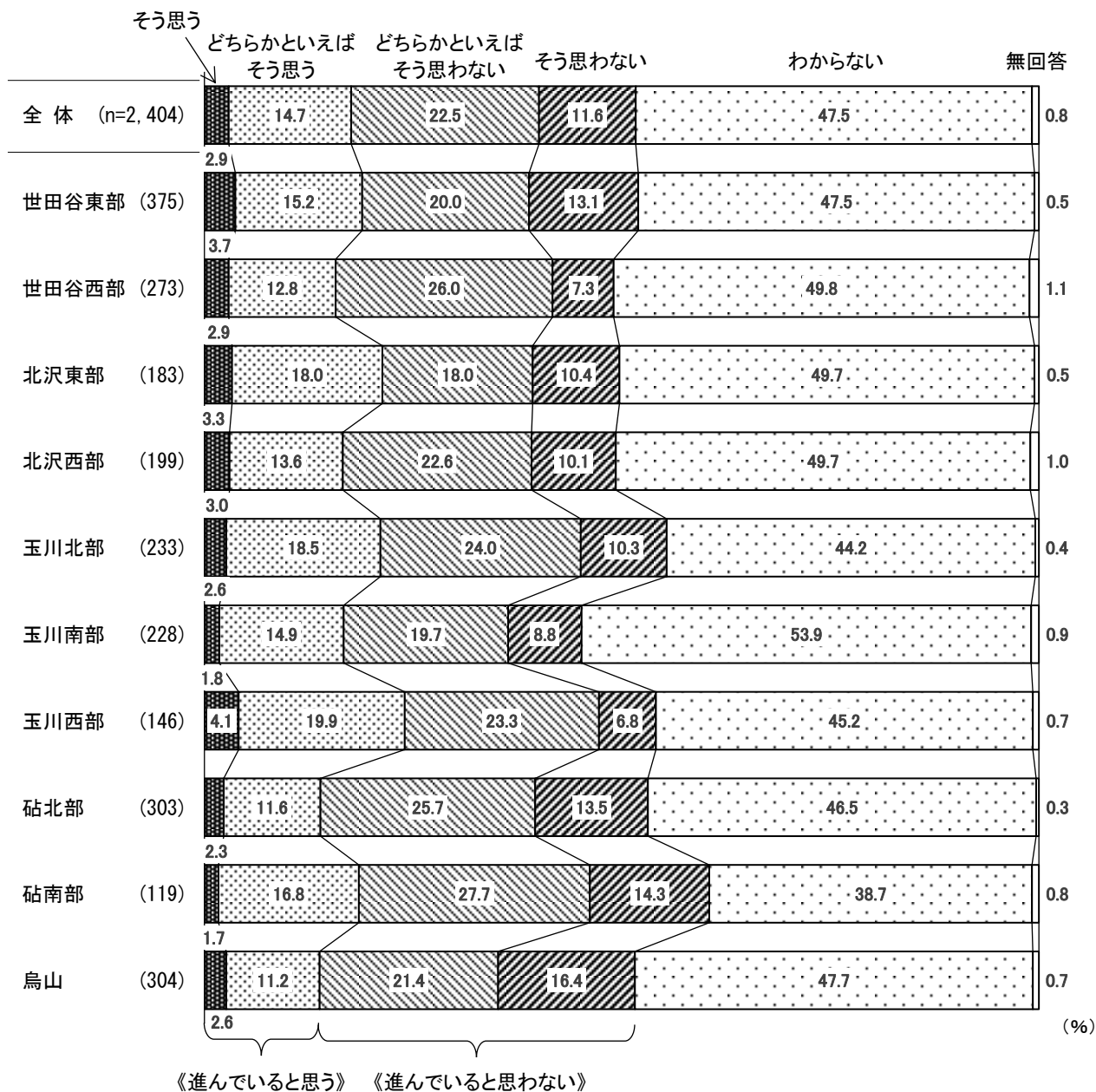
図１０－２－１



外国人等の地域活動への参加が進んでいると思うか聞いたところ、「わからない」（47.5%）が５割近くで最も高い。「どちらかといえばそう思わない」（22.5%）と「そう思わない」（11.6%）を合わせた《進んでいると思わない》（34.0%）が３割半ば、「そう思う」（2.9%）と「どちらかといえばそう思う」（14.7%）を合わせた《進んでいると思う》（17.6%）は２割近くとなっている。

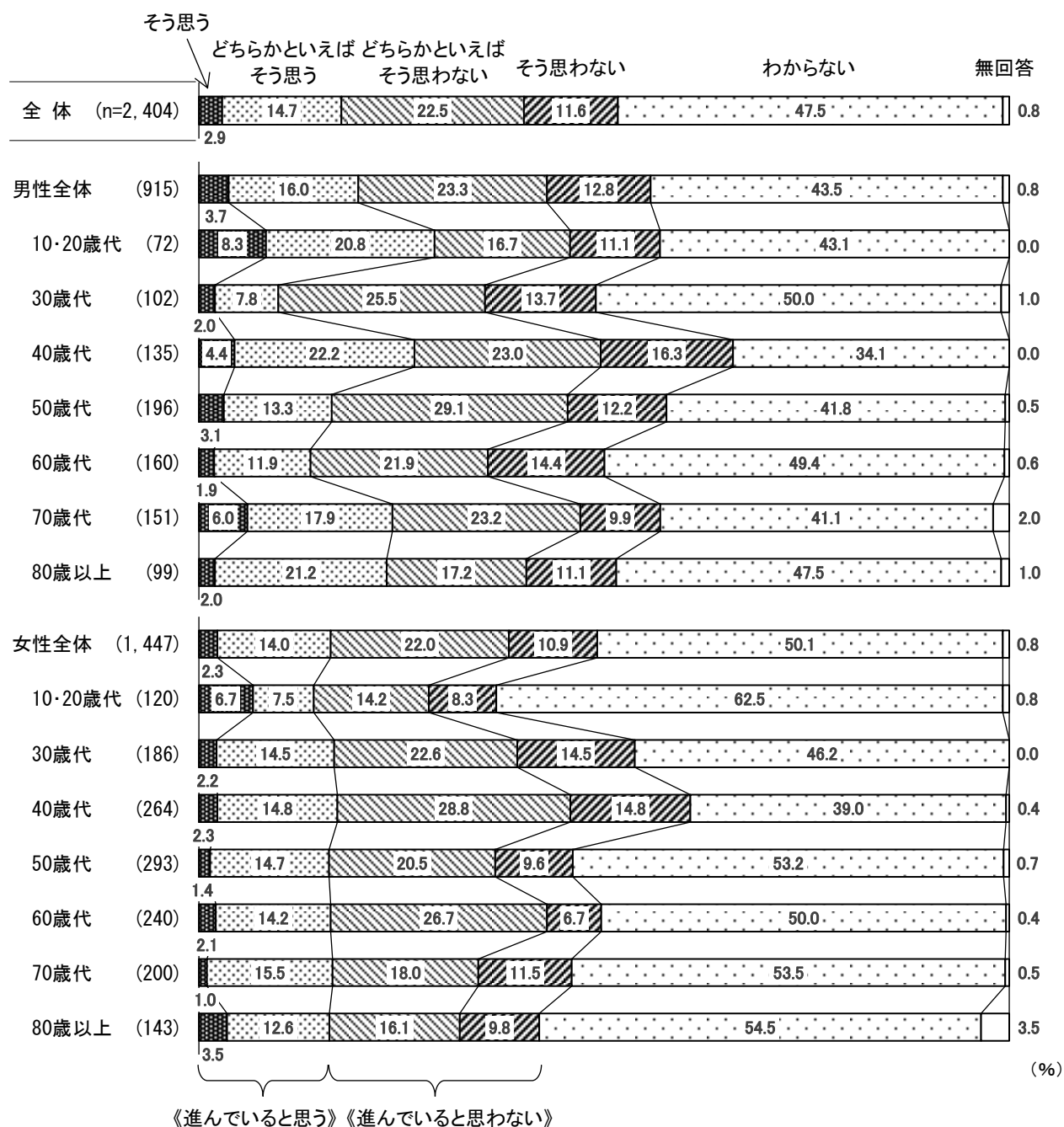
（図１０－２－１）

図 10-2-2 外国人の地域活動への参加の進捗状況（地域別）



地域別にみると、《進んでいると思う》は玉川西部で2割半ば、北沢東部、玉川北部で2割を超えている。《進んでいると思わない》は砧南部で4割を超え、砧北部ではほぼ4割、烏山で4割近くとなっている。「わからない」は玉川南部で5割を超えている。（図10-2-2）

図 10-2-3 外国人の地域活動への参加の進捗状況（性・年齢別）



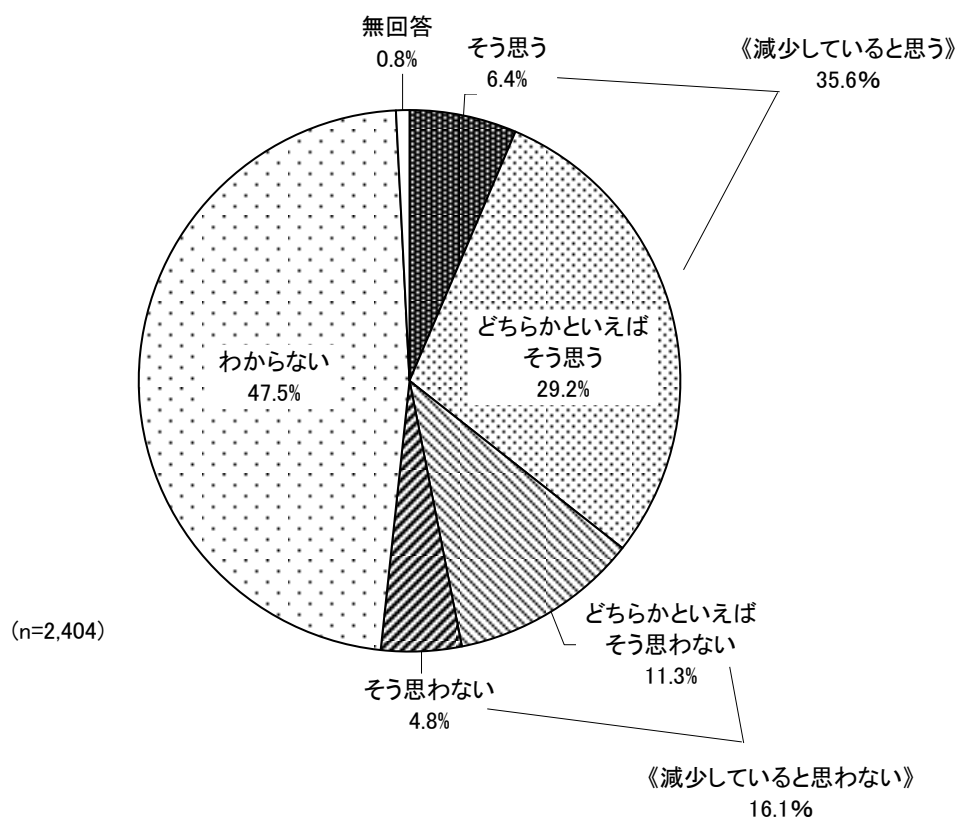
性・年齢別にみると、《進んでいると思う》は男性の10・20歳代でほぼ3割、男性の40歳代で3割近くとなっている。《進んでいると思わない》は男性の50歳代、女性の40歳代で4割を超え、男性の30歳代と40歳代でほぼ4割となっている。「わからない」は女性の10・20歳代で6割を超え、女性の80歳以上で5割半ば、女性の50歳代と70歳代で5割を超えている。（図10-2-3）

（３）区内の外国人への偏見や差別の改善状況

◎《減少していると思う》が３割半ば、《減少していると思わない》が１割半ば

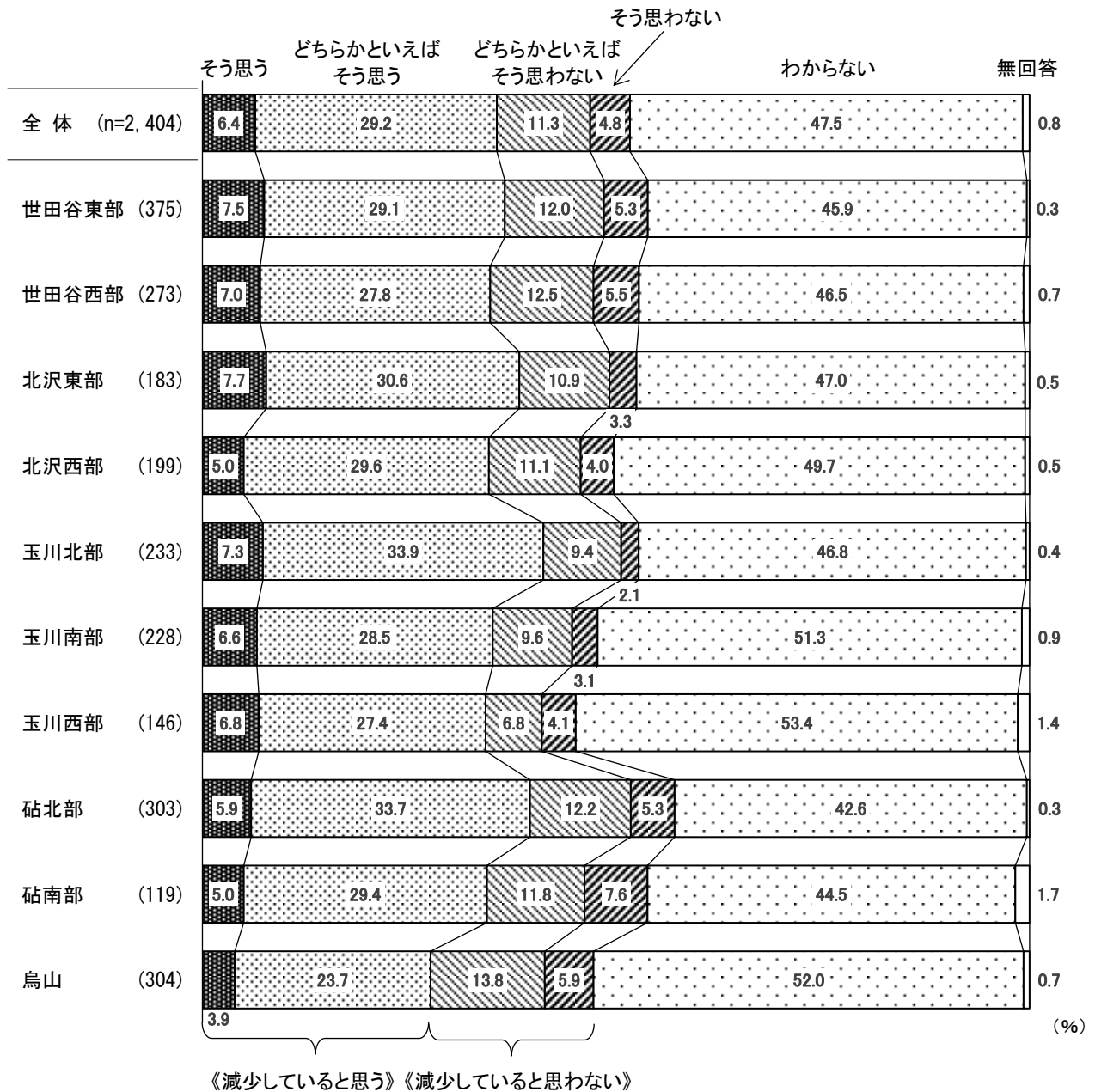
問３０ 区では、多様な文化を理解し合える交流イベントなどを開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人等に対する偏見や差別が減少していると思いますか。（○は１つ）

図１０－３－１



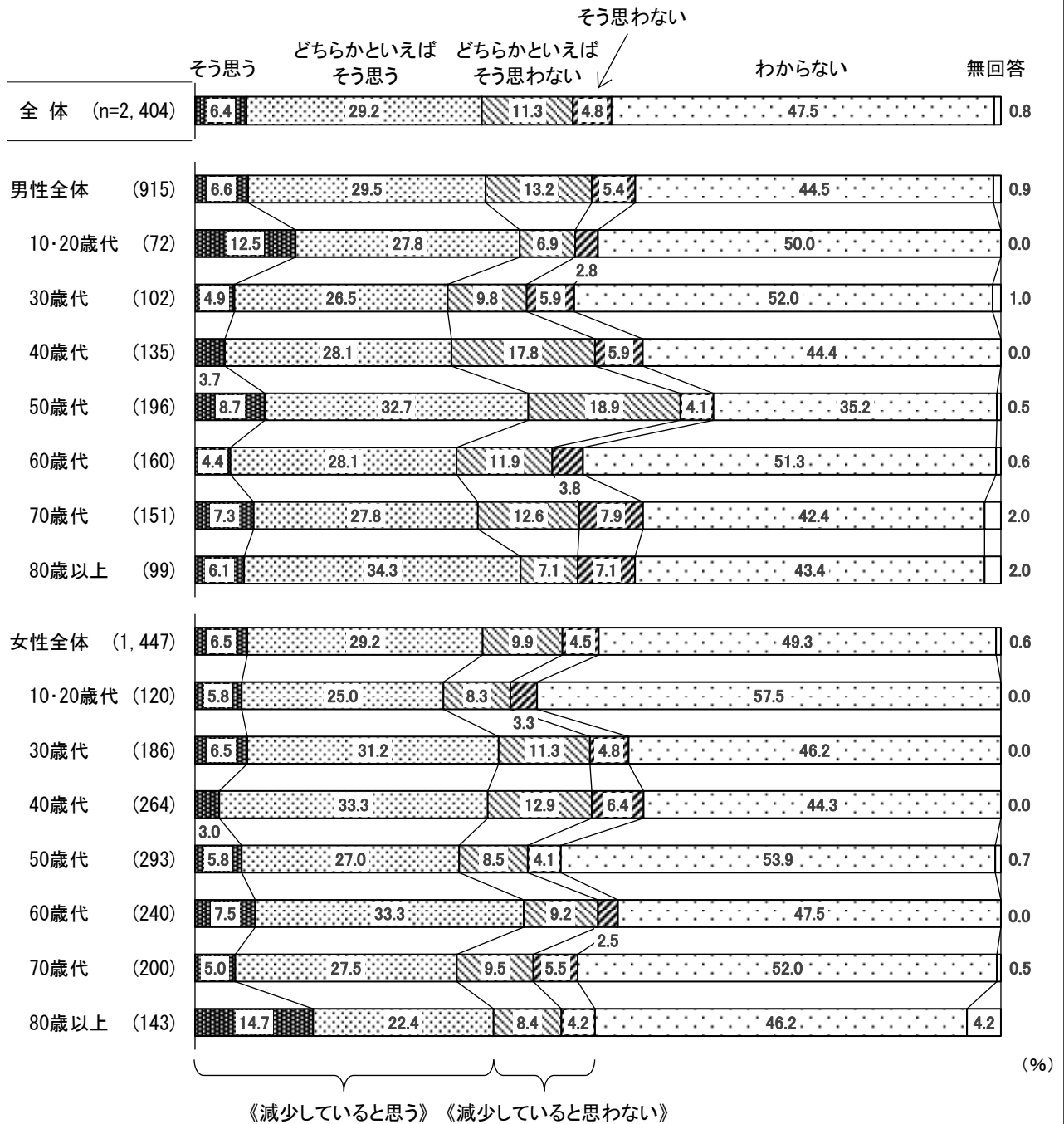
区内の外国人等に対する偏見や差別が減少していると思うか聞いたところ、「わからない」（47.5％）が５割近くで最も高い。「どちらかといえばそう思う」（29.2％）がほぼ３割で、「そう思う」（6.4％）と合わせた《減少していると思う》（35.6％）が３割半ばとなっている。「どちらかといえばそう思わない」（11.3％）と「そう思わない」（4.8％）を合わせた《減少していると思わない》（16.1％）は１割半ばとなっている。（図１０－３－１）

図 10-3-2 区内の外国人への偏見や差別の改善状況（地域別）



地域別にみると、「減少していると思う」は玉川北部で4割を超え、砧北部で4割、北沢東部、世田谷東部で4割近くとなっている。「減少していると思わない」は烏山で2割、砧南部でほぼ2割となっている。「わからない」は玉川西部、烏山、玉川南部で5割を超えている。（図10-3-2）

図 10-3-3 区内の外国人への偏見や差別の改善状況（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《減少していると思う》は男性の50歳代で4割を超え、女性の60歳代では4割、男性の10・20歳代と80歳以上で4割となっている。《減少していると思わない》は男性の40歳代と50歳代で2割を超えている。「わからない」は女性の10・20歳代で6割近く、男性の30歳代と60歳代、女性の50歳代と70歳代で5割を超えている。（図10-3-3）